

## 車好きの夢物語

私は幼い頃から車が好きだった。ちょっと知恵がついてくると、そのうち石油が枯渇して車に乗れなくなる時代になるのではないかと、真剣に心配したものでした。

もちろん、30年近く経って父親になっても大好きな車に乗ってドライブに行ったりサーキットでのモータースポーツを楽しんでいるわけで、本当に幸せなことであると思う。

しかし、子どもが生まれ将来を考えたとき、最近の地球規模での環境の変化を抜きにしては考えられなくなっている。二酸化炭素増加による地球温暖化はその最たるものである。アイドリングストップなどのエコロジー走行、節水、節電を心がけてはいるが、車に乗ることに少なからず罪悪感を感じてしまうのは.....私はちょっと異常なのだろうか？

そんなある日、BDFの存在を知った、BDFとは植物油より精製される、ディーゼルエンジンの代替燃料である。植物系燃料であるため二酸化炭素による温暖化など環境への影響も比較的少なく、排気ガスも軽油のそれよりクリーンであるという。

菜の花を目で楽しみ、抽出された油でてんぷらなどを舌で楽しみ、廃油を精製したBDFでカーライフを楽しむ。車好きならずとも最高の資源循環型社会ではないだろうか？！

そこで閃いた！

宮崎県山之口町天神ダムの近くに広大な敷地がある。周辺に民家はなく、とてもどかな場所である。以前、ある人がジムカーナコースを造ろうとしていたらしいが、資金不足のために断念したと云う話だ。そのため整地はほぼ済んでおり、山之口町が無償で貸与してくれるとの情報もある。

この土地にミニサーキットを造る！サーキットはアスファルトで舗装されているコース以外の面積が結構広いもので、その土地に菜の花を植えて、菜の花からBDFまでの循環環境を作る。残念ながらディーゼルエンジンはスポーツエンジンにはむかないようであり、そのサーキットをディーゼルエンジンの搭載車によるスポーツ走行は少ないかもしれないが、一般の方に使用していただければいいと思う。

インターネットで検索すると、200ccのディーゼルエンジンを搭載したカートを製作した方もいるようであるが.....

サーキットに黄色の菜の花が咲き溢れば、景観を壊すようなことにもならないと思う。また、ダム湖で水上スキーやジェットスキーなどのマリンスポーツも楽しめるようになれば、更に多目的公園なども併設すれば、一大スポーツゾーンとして多くの方に楽しんでもらえるのではないだろうか？

更に、その施設等の管理などを高齢者団体や障害者授産施設などに委託してもらえれば私が考える最高の施設になる。

ただの車好きのおっさんの夢物語であるが、いかかがでしょうか？